



## 会長あいさつ

佐藤 康

平素より、全国中小企業青年中央会にご協力を賜り誠に有難うございます。

本年3月で、東日本大震災発生から4年が経過いたします。被災地では、住民生活や産業振興を支える交通、ライフラインなど重要な社会基盤が復旧しつつあり、災害公営住宅の建設も進められてきました。これから、土地区画整理や港湾・漁港施設など更に多くの復興事業が目に見えて進むと予想され、被害の大きかった沿岸地区に明るい兆しが見えてきたところであります。

一方、我が国経済に目を向けると、中小企業にとっては、消費税増税による消費低迷、円安による原材料の高騰、人手不足と厳しい要因ばかりが目立ち、景気は緩やかに回復基調と報告されているものの未だ先行きが不安であるというのが実感ではないでしょうか。

このような状況の中、地方への好循環拡大に向けた緊急経済対策を盛り込んだ平成 26 年度補正予算が2月3日に可決、成立しました。この対策は消費の刺激や地方の活性化に重点を置いた内容となっており、会員の皆さんには有効に活用をしていただきたいと思います。

昨年 10 月福井県芦原温泉で開催されました全国講習会では全国各地より多くの皆様にお越し頂きました事、本会を代表致しまして御礼申し上げます。これまで全国各地で開催された全国講習会ではその地域における地方会員の取組みや地方から全国へ発信する企業紹介等、先進地事例を取り上げ紹介してまいりました。今回、福井県が全国に先駆けて取組まれた“どうせ買うなら”運動を、全国講習会翌日に開催された“ふくい青年中央会まつり”に参加し各団体同士の連携、地域を捲込んだ商売に触れ、見学された多くの会員から賞賛の声が上がっておりました。また、同日開催された第15回 滋賀県中小企業青年中央会まつり「びわこフェスタ2014」でも滋賀県の会員によ

る同様の取組みがなされており、今や近畿地区より浸透しつつあります。今後この動きがそれぞれの地域で形を変え全国各地で組合間連携・ビジネス連携の一助となる事を期待しております。

正式な呼称となる“UBA(United Business Associations)”については委員会を中心に今後はロゴも含め、どうやって肉付けをしていくかと言う事を議論しております。何故 UBA が全青中の呼称となったのか？それに関しては宮崎での全国代表者会議でお話しさせて頂きましたが、今回の全青中だよりも再び経緯等についてもご説明しておりますのでご一読下さい。将来的には上記の各都道府県が独自で取組む組合間や個別のビジネス連携を全国に橋渡しする役目も担う、役に立つUBAを目指します。

この度、佐賀県中小企業青年中央会は、団体の垣根を越えた交流や、農商工連携を積極的に取り組み地域の活性化を諮る為に、佐賀県商工会議所青年部連合会・佐賀県商工会青年部連合会・公益社団法人日本青年会議所九州地区佐賀ブロック協議会・佐賀県農協青年部協議会の4団体と共に『佐賀県友好青年団体』の調印を行いました。これまでも各団体それぞれの強みを生かした友好団体の連携が各地で行われており、福島県青年部団体連絡協議会のように友好団体間のビジネス交流会を提供している例も報告されております。他団体の事業や考え方なども良い物は良いと言った柔軟な考えで取入れる事も必要です。UBAと言う名に相応しい新たな取組みを全青中として積極的に行いたいと思います。

結びに、次年度山形での総会・松江での全国講習会も各県が其々趣向を凝らしてのおもてなしを考えておられます。全国を訪ねその土地の文化に触れ、全国の同志達と親しむ。全青中の会員で良かったと思えるステージをこれからも提供できるよう心掛けてまいります。

# 平成27年度 全国中小企業青年中央会 通常総会

平成27年

**6月19日(金)**

**山形グランドホテル**

**山形県山形市本町1-7-42**

スケジュール

13:00~14:30 通常総会

14:45~16:45 全国代表者会議

18:00~20:00 懇親会

12:00~18:00 北海道・東北物産展



ご挨拶

このたび、山形県山形市において平成27年度全国中小企業青年中央会通常総会を開催させていただき運びとなり厚く感謝申し上げます。山形県メンバー一同、「やまがださ、きていがったなあ(良かったな。）」とさせていただけるよう準備を進めております。

山形そして北海道・東北は、豊かな「自然」、美味しい「食」、暖かい「人情」に溢れています。ぜひこの機会にお越しください。皆様のご参加を心よりお待ちしております。来てけろッスやまがた！！

山形県中小企業青年中央会  
会長 玉井 優



## 平成26年度組合青年部全国講習会(福井県開催)にあたり

### 【 御 礼 】

#### 全国青年中央会メンバーの皆様

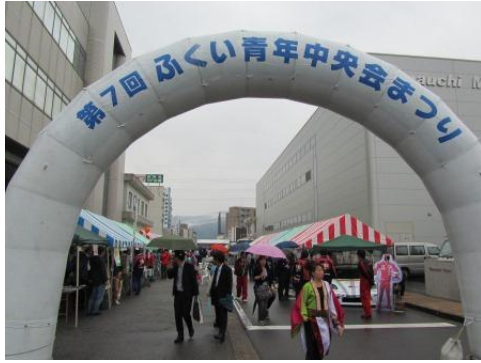
去る平成26年10月4日(土)、福井県・あわら市にて開催された「平成26年度組合青年部全国講習会」では、全国より多数の青年中央会・協議会メンバーの皆様にお集まり頂き誠にありがとうございました。空港も新幹線もない福井の地に、また土曜日での開催にも関わらず多くの同志が集まって頂いた事に改めまして深く感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

全国講習会では、講演会スタイルではなく、全国からお集まりのメンバーの皆様にご濃い“交流”を図って頂きたいとの思いから『アウ・シル・ツナガル交流会』と題し交流会を実施させて頂きましたが、如何でしたでしょうか？懇親会でも“福井スタイルでの交流”をお楽しみ頂きたいと、ゼッケンを着用しご参加頂きました。今後、メンバーの皆様が再会された時に『福井でお会いしましたよね！』と、1人でも多くのメンバーが“ツナガル”きっかけ作りができたのであれば嬉しく思います。



全国講習会の翌日には、福井市内にて当青年中央会メイン事業でもある「ふくい青年中央会まつり」も開催させて頂き、当日は生憎の天候ながら、こちらも多数のメンバー様に足を運んで頂きました。あわせて御礼申し上げます。

組合青年部及び、所属企業の活性化・PRを目的にスタートした同事業ではありますが、今後の全国都道府県青年中央会・協議会の皆様の活動へ、少しでもお役立て頂ければ幸いです。



最後に、ふくい青年中央会ではどうせ買わなければならないもの、必要なものは青年中央会メンバー内でお願いしようと「どうせ買うなら運動」を実施しております。全国講習会実施にあたりまして、同取り組みを生かし会員組合青年部である芦原温泉旅館協同組合青年部・会員旅館にて実施させて頂きました。また、近年では近畿ブロック青年中央会でも「どうせ泊まるならメンバーのホテル・旅館で」と題し、近畿圏内のメンバーホテル・旅館を積極的に利用しようとする取り組みが広がっております。

平成 27 年 3 月 14 日には北陸新幹線が開業し、福井へのアクセスも幾分か楽になるかと思えますので、福井を楽しまれた方は再度、お時間なく観光等頂けなかったメンバー様は、全国講習会での来県を機会に、また福井の地へ足を運んで頂ければ嬉しく思っております。

H26 スローガン

Business オン Communication  
**伝心**  
～想いをともに～

福井県中小企業団体青年中央会  
会長 坂下 彰

## ブロックからの活動報告

### 「東北・北海道ブロック交流会」を山形県天童市で開催

平成 26 年 11 月 21 日(金)、山形県の天童温泉「ほほえみの宿・滝の湯」において「東北・北海道ブロック交流会」を「山形県中小企業団体青年部大会」と合同で開催いたしました。

当日は、山形県青年中央会の会員青年部はもとより東北6県・北海道からおよそ 65 名が参加しました。

開会に際して行われた大会セレモニーでは、主催者の山形県中小企業団体中央会の山本会長、中小企業団体青年中央会東北・北海道ブロック連絡協議会の佐藤会長および開催県である山形県中小企業青年中央会の玉井会長からの挨拶により盛大に幕を開けました。

引き続いての講演会では、「山形ディスティネーションキャンペーンの取組みについて」と題して、東日本旅客鉄道株式会社 仙台支社営業部 観光開発副課長 戸田 正樹 氏より、観光事業の役割と観光事業を通じての地域づくり、そしてリピーター獲得のための取組みやそのポイントなどについてご講演いただきました。山形県は来年度の全国中小企業青年中央会の総会開催地でもあり、今回の内容は、開催県として来県者に対するおもてなしの心を学ぶ非常に有意義な内容となりました。

講演会終了後の交流懇親会では、山形県商工労働観光部中小企業振興課長の泉洋之様、天童市長の山本信治様から御祝辞をいただき、商工中金山形支店次長の朝熊充宏様のご発声により乾杯。山形県青年部大会好例のビンゴ大会も行われ、景品には山形県青年中央会の会員青年部で取り扱っている地元ならではの特産品などが提供されました。会はとても盛り上がり、活況な雰囲気の中、参加者同士の交流も活発に行われ、親睦を深めるとも良い機会となりました。



挨拶する佐藤ブロック会長



講演する戸田正樹氏

## 四国四県の商工3団体トップが集い、「青年部四国トップ会議」を開催

昨年(2014年)の12月5日、愛媛県松山市のワシントンホテルプラザ松山において、「平成26年度商工3団体青年部四国トップ会議」が各団体代表をはじめとして総勢46名の参加者によって盛大に開催されました。

今回で2回目となるトップ会議は、四国四県の商工会議所青年部連合会、商工会青年部連合会、青年中央会の各団体代表によって構成され、四国四県のスケールメリットを生かし、共に県という枠組みを超えた連携に取り組んで行きたいという思い、また結束を深めることを目的として活動していきます。



第1回を担当された徳島県を除く3県は、交流はあれど共同で取り組んでいる事業はなく、愛媛県においても、今回の開催にあたり、取組事業の検討からはじめることとなりました。

協議の結果、中央会青年部協議会が主催する大学生を対象とした学生との交流会「ひめと一一く」に、商工会議所青年部連合会ならびに商工会青年部連合会より各5社ずつ参加していただき、共同開催の形をとることで決着しました。

共同開催することのメリットとして、懸案であった業種のレパトリーを増やしてほしいという学生からの要望に応えることができたことはもちろん、事業を通じて、3団体の結束をより深められたのと言うまでもありません。

学生と企業経営者との本音でのトークバトルでもある「ひめと一一く」は、時間の経つのも忘れるくらい、学生と企業の熱気に包まれ、過去の2回にも負けにくい活況のうちに終えることができました。



この事業に参加された学生、学生募集に協力いただいた学校の先生、そして企業経営者の参加してみての感想は、大多数の方が好感を抱いており、有益な事業との評価をいただいたのと同時に、今後も継続してほしいとの要望もあったことが印象的でした。

このことを踏まえて、今回の事例発表に相成ったわけですが、経緯説明からはじまり、学生と企業



経営者それぞれのアンケート分析結果を約40分かけて説明しました。

また、最後に企業経営者として参加された方2名による参加してみての感想を熱く語っていただきました。

その後、各県それぞれの団体代表による人材についての意見交換も行われ、採用から人材育成など今後の会社経営戦略の参考となる貴重な意見を頂戴しました。

引き続き、懇親会に移りましたが、複数の会議出席者より、ぜひ我が県でも取り組みたいとの声は何よりの褒め言葉でした。

事業をとおして社会貢献をすることが所期の目的の一つでしたから、この取り組みが四国四県に広がる可能性が感じられただけでも満足しております。

そして、愛媛県商工三団体として共同で取り組んだことが、より深い交流そして結束が得られたこと、今後のこの団体の可能性を見出すきっかけになった事業として将来の発展につながることを喜ばしく思っています。

四国ブロック青年中央会

愛媛県中央会青年部協議会

会長 金井芳臣

## 佐賀県内の青年5団体で友好調印を行いました！！



年団体』の調印を行いました。

調印式には、各団体の役員並びにマスコミも出席。各団体の長が調印書にサインをし、固い握手を交わしました。その後、発起人代表である本会 淵上史貴会長が「(活性化の為に)とにかく参加者がワクワクすることをやらなければならない」と、この調印にかかる意気込みと思いを表明。

調印式終了後には、県選出の国会議員・県議会議員らを迎えて交流懇親会を開催。各団体からも総勢 200 名の会員が一堂に会し、早速、団体の垣根を越えた交流の場となりました。

本調印は、県内青年5団体の友好関係を確立し、継続的な交流・連携を行い、総数約 4,000 名というスケールメリットを生かして地域社会の活性化を図ることを目的としており、今後は「参加団体のネットワークの構築」「意見交換、情報交換の機会の創出」「緊急時のネットワークの構築と活用」「農商工の連携した取り組みの可能性の模索」を基本方針として、様々な取り組みを行っていく予定です。

佐賀県中小企業青年中央会は、平成 26 年 11 月 7 日(金) ホテルニューオータニ佐賀において、佐賀県商工会議所青年部連合会(野田英紀 会長)、佐賀県商工会青年部連合会(米田 守 会長)、公益社団法人日本青年会議所九州地区佐賀ブロック協議会(井上秋史 会長)、佐賀県農協青年部協議会(横尾隆登 委員長)の県内青年4団体とともに、『佐賀県友好青年



《調印式》



《交流懇親会》



《西日本新聞 掲載記事》



《佐賀新聞 掲載記事》

# UBA(United Business Associations)ロゴデザイン公募中

平成27年2月26日  
全国中小企業青年中央会  
UBA委員会

## 全国中小企業青年中央会「UBA(ユービーエー)」について

UNITED BUSINESS ASSOCIATIONS

### ○ 経緯

2013年11月に開催しました全国講習会(三重県四日市市)にて、上山直前会長より西川りゅうじん氏の会談について報告がありました。

西川氏から、「全国中小企業団体中央会の英語表記は『National Federation of Small Business Associations』となっている。『SMALL BUSINESS』という表現は、中小企業を意味するにしても、英語圏ではビジネス自体も小さく印象付けてしまうことから青年部の集まりである全国中小企業青年中央会も、青年経済人に親しみやすく、ビジネス交流を中心とした日本最大の異業種団体を全面に押し出した呼び名が必要ではないか。『全国中小企業青年中央会』という正式名称はそのままとし、ビジネスという共通の目的に結びつく団体の意味を込めた“UBA(UNITED BUSINESS ASSOCIATIONS)”という略称を用いては如何ですか。という提案があり、これを機に意識高揚と活性化を目的とし、本会の略称を「UBA」と定めることに決定しました。

### ○ 目的

綱領に則り、会員間の交流を活発にすることを目指し「UBA」を本会略称として定めるとともに、広く一般に広報することを目的とする。

### ○ ロゴマーク公募

全青中「UBA(ユービーエー)」ロゴデザインの公募を都道府県中小企業青年中央会・協議会会長へ向けて依頼し、全国より寄せられたデザインの中から全青中役員会で決定する。

公募期間は、平成26年12月10日(水)～平成27年4月5日(日)とし、27年度全国通常総会の場で発表を予定し、採用者の方にデザインコンセプト等を説明頂き当日感謝状と記念品をお渡しする。

## 正副会長活動記録

10月8日(水) 平成27年度開催全国総会実行委員会(佐藤会長)  
【山形県山形市】

10月28日(火) 平成26年度四国ブロック交流会(谷副会長)  
【徳島県徳島市】



11月7日(金) 平成26年度関東甲信越静ブロック中小企業青年中央会  
第2回代表者会議(佐藤会長、山口副会長)  
【神奈川県横浜市】



11月11日(火) 第29回組合青年部大阪大会(佐藤会長、谷岡副会長)【大阪府】



11月14日(金) 栃木県青年経営者中央会 創立40周年記念式典(佐藤会長)【栃木県】



11月18日(火) 平成26年度近畿ブロック青年中央会第3回理事会  
(佐藤会長、谷副会長、谷岡副会長)  
【滋賀県大津市】



11月21日(金) 平成26年度中小企業団体青年中央会東北・北海道ブロック連絡協議会  
ブロック交流会(佐藤会長)  
【山形県天童市】



12月4日(木) 全国青年友好団体トップ会談(佐藤会長、谷副会長)  
【愛知県名古屋市】



1月30日(金) 岐阜県中小企業青年中央会創立40周年記念講演、記念式典  
(佐藤会長、谷副会長)  
【岐阜県岐阜市】



2月5日(木) 平成26年度第2回四国ブロック長会議(佐藤会長、谷岡副会長)【愛媛県松山市】



2月14日(土) 平成26年度組合青年部静岡県大会(佐藤会長)【静岡県静岡市】

